



# 下末吉だより

令和5年6月30日

7月号

横浜市立下末吉小学校

## 目標に向かって

副校長 坂本 直人

6月は、4年生、5年生が三浦へ宿泊体験学習に行きました。ちょうど梅雨時で、天候が心配ではありましたが、雨に降られることもなく、全て予定した行程で実施することができました。2年生、3年生にもらった「てるてる坊主」のおかげだと思います。子ども達は、1泊2日の中で、「みんなでうたおう らッキー 45」というスローガンに向かい、どの活動も一生懸命に取り組みました。キャンドルファイアーも大いに盛り上がりました。宿泊体験学習は観光旅行ではなく、教育活動の一環です。今回の活動でも、学年に応じた「ねらい」をもち、その達成に向けて子どもたちは活動し、学びました。体験学習に限らず、全学年とも毎日の授業や学校生活における様々な「ねらい」は今後、子どもたちが未来に生きていくための「生きる力」に繋がっていきます。

今月下旬には、夏休みに入ります。「生きる力」を育むチャンスでもあります。子ども達にとって大切なことは、どんな夏休みにしたいかをはっきりさせ、「目標」を具体的にもち、「計画」を立てて実践していくことです。また、長期の休みだからこそできる挑戦もあると思います。私は、5月の朝会で、「今年の目標は本を50冊読むことです。」と話をしました。1か月に4冊以上になるので、私にとってはなかなか難しい目標ですが、この夏休みを生かして頑張りたいと思います。目標というのは、簡単ではないけれど、頑張ればできそうと思うことを設定するとよいのではないかと思います。

また、夏休みはご家庭や地域で過ごす時間が多くなります。下末吉小学校の児童会のスローガンは、「未来につなごう下小のバトン ～つなぐぞあいさつニコニコ～」となっています。

「あいさつ」を大切にしています。「あいさつ」は人と人とを結ぶコミュニティの始まりです。毎日の親子での「あいさつ」、学校、地域では日常での「あいさつ」を、われわれ大人がぜひ率先して意識的に声を掛けていきたいと思っています。

### <令和5年度 下末吉小学校スクールゾーン対策協議会報告>

6月8日(木)にスクールゾーン対策協議会を本校図書室にて行いました。新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、令和元年以降書面開催でしたので、集合での開催は4年ぶりでした。

スクールゾーン対策協議会とは、保護者の皆様にご協力いただき、本校の通学路について不備がないかをあげていただきます。あがってきた項目について PTA 校外委員の方に現地調査を行っていただき、要望としてまとめます。まとまった要望書を基に、関係機関(土木事務所、警察署、区役所)、自治会の代表者、交通ボランティアの方々と話し合いを行い、改善していくというものです。その中で出た話として、次のような意見がありました。

○登下校の際、脇道から車が出てくることもあるので、周りをよく見て歩くようにしていきます。

○道路に路側帯(白線)がある場合には、歩行者はその内側を歩きます。路側帯がない場合には、右側左側どちらを歩いてもよいです。

○車には死角(見えない範囲)があるので、走っている車にも停まっている車にも近付きすぎないようにしましょう。

学校でも登下校の安全について話をしますが、ご家庭でもお話していただけるようご協力お願い致します。